

令和8年度 第1回

生活支援体制整備 における 多機関合同意見交換会

テーマ

『多機関(多職種)連携での
グラフィックレコーディングの活用と実際
～ 個別支援や協議・会議(地域ケア会議含む)等にも
活かせる手法を学ぶ ～』

※(一社)広島県介護支援専門員協会の生涯学習(研修単位認定)制度:「D-3-5」2単位

開催概要

日時

令和8年
9月24日(木)
13:15～16:30

会場

広島県医師会館
301 会議室
(広島市東区
二葉の里 3-2-3)

定員

60 名
参加費無料

対象

生活支援コーディネーター、
市町職員、地域包括支援セン
ター職員、市区町社会福祉協
議会職員、県・県保健所(支
所)職員、居宅介護支援事業
所職員、地域リハビリテーシ
ョン専門職、介護施設・事業所
職員 等、高齢者支援・地域
福祉に携わる者

内容及び講師

講義・演習 『伝える・伝わる力の幅を広げ自身の関わる場を“より良い場”に出来る手法を知る
～ グラフィックレコーディングの基礎と活用実践 ～』

講師 川原 諭 氏

講師プロフィール



かわはら さとし

川原 諭

Satoshi Kawahara

福祉系専門学校卒業後
2000年4月に医療法人社団に入職し
在宅介護支援センターの相談員として働き始める。
2007年に介護支援専門員取得し
ケアマネジメントに関わるようになる。
その後も
市の総合相談体制整備の方向性により
明石市社会福祉協議会への出向。
生活支援コーディネーター(江井島→野々池)としても経験。
出向から2年で帰任。
帰任後、居宅介護支援事業所のケアマネージャー→施設ケ
アマネージャーを経て、2022年3月末に同法人を退職し、
フリーランスとなる。
現在は、播磨町社会福祉協議会にて、地域福祉活動アドバ
イザーとして関わりながら、目の前の人の暮らしが少しで
も豊かになるように様々な活動中。

申し込み 方法

右の二次元コード
または URL より
申し込んでください。
※切延長: 9/15(火)



https://www.chiikihoukatsucare.net/p02kensyu_kiji.php?id=207

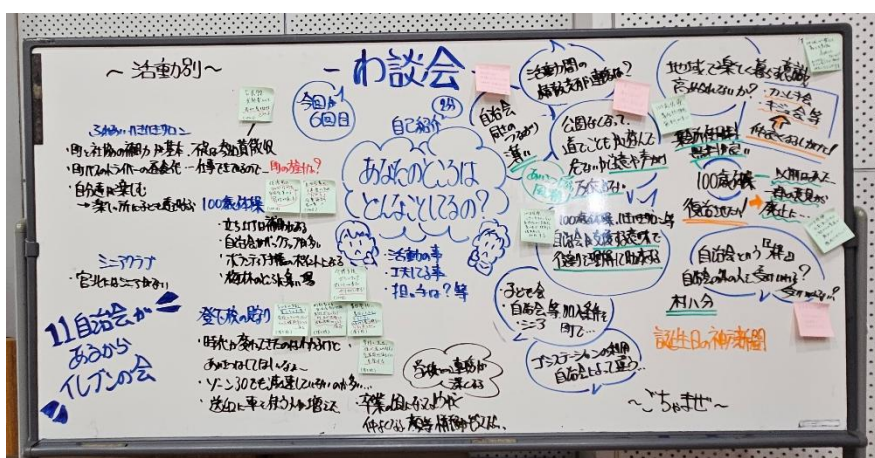
問合せ先

広島県
地域包括ケア推進センター
(担当: 田中・石川・藤原)

Tel
082-569-6493

Mail
hokatsu-kensyu@hiroshima-hm.or.jp
ホームページ
<https://www.chiikihoukatsucare.net/>

グラフィックレコーディングって??



グラフィックレコーディングの実例(講師提供写真)

グラフィックレコーディング(グラレコ)は、話し合いや会議、ワークショップ等で出た様々なアイデアや意見等を文字だけでなく図形やイラスト、アイコンも使って視覚的に整理しながら記録する手法です。話されていることの要点や結論等の全体像をその場にいる全員が把握できることで、意見を出しやすくなる、その場が活性化する等の効果が期待できます。

